

人物展示コーナー「柏崎の先人たち」 令和3（2021）年度の展示

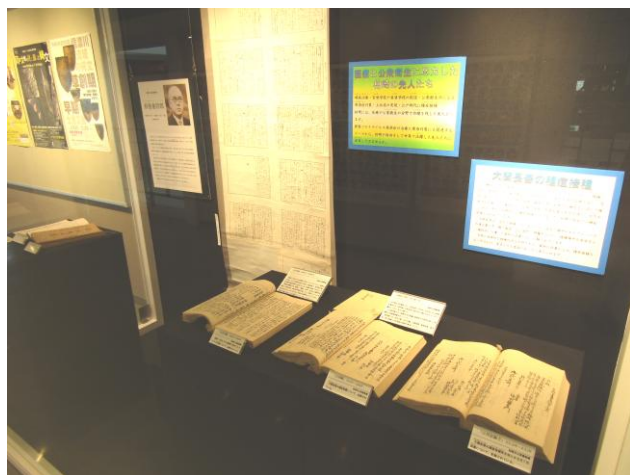
○テ ー マ 「医療や公衆衛生」

令和3（2021）年度の展示替えは、新型コロナウイルス感染症の治療と感染対策に関連して「医療や公衆衛生」をテーマに、柏崎や国内そして世界で功績を残した先人たちに注目しました。

あわせて、流行病をめぐる対応を取り上げ、江戸時代の柏崎での様子と当時の医師についても展示しました。

- 展示内容
- ・ 宮川文平（兄） 眼科医・明治42（1909）年に私立中越盲啞学校を創設
 - ・ 宮川久平（弟） 産婦人科医・明治31（1898）年に赴庵産婆講習所を創設
 - ・ 曾田長宗 公衆衛生学の専門家・感染症対策
 - ・ 大関長善 文久元（1861）年、柏崎で初めて種痘（天然痘ワクチン）接種を実施
 - ・ 西巻進四郎 柏崎の上水道を実現、衛生環境を改善
 - ・ 関連資料 近世柏崎町の医学館（医師の組織）と安政年間コレラ大流行の対応

- 会 期 令和3（2021）年9月～令和4（2022）年5月
（前年度の展示テーマに関連した東京オリンピック・パラリンピックが延期開催されたことに伴い、変則的な会期となった）



展示替えした収蔵資料の展示